



やった！ホールインワン

今回は九月十三日、サンライズゴルフ場で行われた第九回市民ゴルフ大会で、見事ホールインワンを達成した川崎信さんの登場です。

川崎 信さん
(上黒山一・28歳)



最初に、ゴルフを始めた理由を……
前から友だちや知っている人がゴルフをやっていたので、興味を持っていました。その友だちに誘われたのが直接のきっかけです。

練習方法と楽しみ方は……

ゴルフを始めて五か月です。練習は多くて一週間に一度位、新潟市内の練習場へ行っています。

ゴルフの面白いところは、結果が数字ではっきり出るところかな。練習の目標もはっきりしているし、自分の励みにもなりますね。

ホールインワンした時の状況を聞かせてください。

カップに入ったと知った瞬間の気持ちは、「たまげた」の一言です。

実は、前のホールで七番アイアンのクラブを忘れて、五番アイアンで打ったんです。そうしたらなんとホールインワンしてしまいました。打った時は、「珍しくまっすぐ飛んだな」という感

じしかなかったもので、まさか入ってしまったとは思いませんでした。全くのまぐれです。

「人知れず」も豊かな自然が切実に思っています。自然を大切にしたい。川や海等の汚染も進んでいくと聞きました。自然を守るため一人ひとりが身近なことから、気を付けていくことが必要だと思います。

きれいな山や川、海が後世に残せるように暮らしたいものです。

随想

No. 38

大島 栄子
(内島見・40歳)



豊かな自然を大切に

昨年の秋、家族でブナ林を見に出掛けてきました。そこは東蒲原郡上川村の日尊の倉山から福島県境にかけての、県下最大規模といわれる三百三十ヘクタールの広大なブナの原生林です。広大な自然を、肌で感じる事が出来ました。

幹の直径が一メートルもあるようなブナの太さを確かめながら沢の方へ下りて行くと、なめこがビッシリと光るようになっている倒木をみつけ、しばし見とれてから、子供のようにはしゃぎまわって、また沢の底の方からブナ林の太木を見上げてみると、「太古の昔から生きてきた木」というのが信じられる様な、神秘的な時間を感ずることも出来ます。ブナ林の中は静寂そのもので心細い限り、あまりの谷の深さに小鳥の鳴き声もききません。聞こえてくるのは谷の底で流れる川の音ばかり、カモシカがいたり大きなト

チの実が落ちていたり、そこは深山そのものでした。

今、全国のブナの原生林が危機にさらされています。何百年もかけて育った大木が、伐採されようとしているのです。大木を切ると、そこに生きている動物の生命が脅かされることになり、また大雨は鉄砲水として下流域の人々を襲うことになり、そのため日尊の倉山でも、地元の方々が原生林を守ろうと観察会を開いたり、勉強会を開いたりして保存運動を行っています。

「人類の英知」も豊かな自然が切実に思っています。自然を大切にしたい。川や海等の汚染も進んでいくと聞きました。自然を守るため一人ひとりが身近なことから、気を付けていくことが必要だと思います。

今、思うこと 市長 小川 廿二

北蒲市町村長
グレートアメリカに行く

今、ノースウェスト機は太平洋の雲海のはるか上空を飛んでいる。

旅行中、時差（日本と昼夜が逆）でへきえきしながらも、全員元気に厳しい日程をこなし、大きな収穫とエピソードを持って数時間後には日本へ、そして私は豊栄へ帰る。

私たち北蒲原郡町村会米国視察団一行十四名の旅はシカゴから始まり、イリノイ州、フロリダ州、カリフォルニア州とアメリカ大陸をV字形横断する実に忙しいものであった。（9/19/9/28）

イリノイ州では中条の南イリノイ大（SIU）本校への訪問と交流であり、州政府とは農業問題、農産物輸出問題で激しく応酬、「日米農産物交渉」は我々に凱歌？

フロリダ州では、かの有名なマイアミビーチのトップレス美人との交際をあきらめて、私の最も期待していた世界最大の湿地帯エバークレース国立公園（フロリダの二千三百倍の濁）を、プロペラ船で疾駆する。ワニが船べりに寄ってくる。プロペラの騒音に飛びたつ鳥たち。「豊栄の市長！福島はこれ

だぞ！」と皆、興奮して口々に言う。

ケープカナベラルNASAの宇宙ロケットの実物の大きさ、そして敷地の広さ、まさに想像を絶する。「原始」の湿地帯と「原子」のNASAの近代の力が同居するグレートな国、アメリカである。

最後の主目的は、全米第一の農業州カリフォルニアへ乗り込むことである。サンフランシスコ領事館の勝山達郎さんは、我々が一生かかっても学びきれぬ程の予備知識を、一晩みっちりレクチュア（講義）してくる。

果てしない畑、田、大運河の農業土木。問題のカリフォルニア米「国宝ロイズ」を作る国府田農場では、巨大なコンバインで刈取りの真最中。支配人の鯨岡さんは「日本人の好む米は簡単に作れない。私の米は一月で予約売切れである。アメリカの米は恐るべきものではない。日本はもつと全般的な観点で自分の米作の大切さを考えるべきだ。特に若い人の理解、力に期待する」という。アメリカを愛し、そして、日本をも愛する心からの言葉であろうか。

最後の晩、美しいサンフランシスコの夜景を眺め、一人、心のたかぶりをおさえることが出来なかった。「グレートアメリカン、汝らも又、進歩のため果敢であった」

し・そ・だ・て

進路について迷っています

相談 中学校三年生男子の母親です。子供は進学がいやだと言います。それじゃ、何になりたいかと問いますと、「わからない」と言います。親としては、せめて高校だけは出したいと考えていますが、どうしたらよいでしょう。

親の考えを押し付けられないことです

助言 親の立場からみると、高校だけでも出したいた気持ちにはわかりませんが、しかし、目的意識も無い子が、ただ高校へ入っただけでは、本当の意義が損われます。

現在、高校の中退や、転学が多く大

きな問題となっています。勉強がいやだ、ついていけない、適性に合わないなどが主な原因となっています。

○第一は、本人の将来・希望について本音を引き出すような雰囲気、ゆつくり話し合うことです。いやなことを押し付けると失敗してしまうことがあります。

○次に、本人の特性や能力をいろいろな角度からみる事です。本人の考え、親の見方、学校の先生、塾や知人の見方などを勘案し、親子で十分話し合うことが大切です。

○第三は、話し合う過程で、親の失敗談、成功談などの人生体験を交えながら、本人の意志決定を導くことも大きな助けとなります。決して結論を急いではいけません。

市内のバイパスは全線4車線



一般国道7号新新バイパス（新潟市海老ヶ瀬I.C～新発田I.C間）の残されていた東港I.Cと新発田I.C間が9月16日正午に開通し、新新バイパスは全線開通しました。

昭和46年に事業を着手して以来、昭和52年10月に海老ヶ瀬I.Cと競馬場I.C間が2車線で開通、昭和56年12月に競馬場I.Cと東港I.C間が2車線で開通、昭和61年10月に海老ヶ瀬I.Cと競馬場I.C間が4車線化で開通と供用されてきました。

今回の開通で競馬場I.Cと聖籠町蓮野I.C間が4車線となり、市内を通るバイパスは全線4車線化になりました。

なお、蓮野I.Cと新発田I.C間は当面2車線の暫定供用となっています。